

にプラットフォームを使って計画内容を詰める。年度内の提供開始を目指す。

AIツールを活用し、自治体の基礎情報や地域の交通関連データに関する▽資料確認▽制度・事例調査▽分析・KPI（重要業績指標）検討▽リスクや修正点の確認▽公共交通計画案や説明資料など成果物の作成ーをワンストップで支援する。

出力した成果物は、自治体の担当者らが原典や引用箇所を確認・判断した上でリキタスのプラットフォーム「Liquid（リクリッド）」に展開する。ウェブで市民や多様な関係者から意見を募集し、AIツールに反映。再度意見を募るサイクルを繰り返し、最終的な計画策定を支援する。東京、群馬、茨城の3都県の自治体で実証し、現場の声を取り入れながら開発を進めている。

両社は、24年7月に「都市・まちづくり分野の市民参加・合意形成支援」で業務提携した。エイト日本技術開発は、これまで培った公共交通計画策定支援の知見を提供する。リキタスは、全国70以上の自治体などに展開中のプラットフォームを提供し、AIEEジェントの設計・実装を担当する。

公共交通計画の策定支援

AIと住民参加型合意形成基盤活用

エイト日技ら

エイト日本技術開発は、自治体の公共交通計画策定支援にAIツールを活用する。市民参加型の合意形成ウェブプラットフォームを提供するLiquidouを

s（リキタス、横浜市戸塚区、栗本拓幸代表取締役兼最高経営責任者（CEO）との共同プロジェクト。AIで計画策定作業を効率化し、多様な関係者との調整

